

勝機をつかめ!

地域のグッドカンパニー



新日本テック

現場の困りごとを解決

次世代モノづくりの発に力を注ぐ。精密加工ニーズをつかめ。新工技術でユニークな製品を開発している。日本テック(大阪市鶴見区、和泉康夫社長)は、現場の困りごとを解決する金型部品の開発、金型部品、電子機器の

コネクタなどに使われる銅は非常に硬く、打ち抜きの際に金型が凝着しやすい。結合材とダイヤモンドを組み合わせた複合品について話し合う新日本テックの和泉社長(左)

精密加工技術で金型部品

合材料で刃先を作り、社からヒアリングを重ね、困りごとを洗い出す。今後は電極材料やモーター部材など比較的大きなものにも加える人材は「会社の宝」

エンジニアを見込む。(和泉社長)と断言す。抜きカスがダイの中

に保持されず、パンチに付着し浮き上がる「かす上がり」を防ぐ加工技術や、射出成形における樹脂の系引きを防ぐ製品も開発している。和泉社長は開発のQCサークル(小集のヒントが生まれる現団改善)活動や技術交流場を「エッジ(最先端)」と表現する。他後進の育成に努める。

草刈寿雄・研削2課課長 部品だけでなく金型を含む全てを手がけられる点が当社の魅力。金型の使われ方を熟知しているからこそのモノづくりがある。

▽設立53年(昭28) 5月▽従業員173人
▽売上高11非公表